

桜江町商工会通信

No.107 令和2年1月

桜江町商工会 TEL 92-1331 FAX 92-1338

Eメール sakura-s@tx.miracle.ne.jp

ホームページ http://sakurae.shoko-shimane.or.jp/



年頭のごあいさつ



新年明けましておめでとうございます。

皆様には新元号「令和」となって2年目の、輝かしい新春をお迎えの

こととお慶び申し上げます。また旧年中は商工会の運営に対しまして、深いご理解と温かいご協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、国内では台風第15号、第19号をはじめとした自然災害が相次ぎました。桜江町商工会では、一昨年の7月豪雨災害で被災された会員へのヒアリングを引き続き行うとともに、災害が起こった場合、迅速に支援体制を整えられるよう市や県との連携強化を図ってまいりました。

また、10月の消費税増税や軽減税率の導入により、地方の中小企業・小規模事業者においても、地域内消費の縮小への影響が懸念されましたが、世論調査等によりますと、「キャッシュレス決済のポイント還元など増税の負担軽減策の活用といった工夫もあり、その影響は限定的であるとされています。

そうした国内情勢の中で、桜江町商工会としましては「経営発達支援計画」に基づいた地域資源を活かした商品開発・販路開拓支援、円滑な事業承継の支援。「小規模企業持続化補助金」を活用した既存事業者の売上げ向上のための支援などを積極的に行いました。また、今年度から新たな「中期行動計画」を策定し、活動の基本方針として「最近地域が賑やかになったんじゃない」を目指して、特に会員増強に取り組むとともに、引き続き各種事業支援を図ってまいります。

今年は、消費税の引き上げ、軽減税率の導入をふまえた決算・記帳指導という新たな課題対策も迫っております。職員の資質向上はもとより、信頼される身近な経済団体を目指し、役職員一丸となって商工会の役割を再認識し、江津市と連携して、会員企業様の経営支援、地域振興のため、会員の皆様の発展のために尽力、邁進してまいります。会員各位の一層のご理解とご協力をいただきますよう何卒よろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、東京オリンピック・パラリンピックを迎える年が会員の皆様方にとって飛躍の年になりますよう、ご祈念申し上げまして年頭のごあいさつとさせていただきます。



桜江町商工会
会長 森下 勝義

「〇〇のために！」

『すべては、お客さまの「うまい！」のために。』

皆さんも一回は聞いたことがあるフレーズではないでしょうか。これはアサヒスーパードライのCMで流れていたもので、アサヒビールの事業方針でもあります。

はじめて聞いたときに、「非常に分かりやすいフレーズだな～」と思いました。

「「うまい！」ビールを造るのは開発・製造部門だけの問題だろう」と思われがちですが、うまいビールを造ってもお客さんに届かないと意味がありません。そういったことを考えると、開発する人・造る人・営業する人・届ける人等、すべての人が携わって初めて「うまい！」をお客様に提供できることとなります。

携わる皆さんが「自分は何のためにやっているのか」といった思いを、同じ方向に向かわせることが出来る、分かりやすい良いフレーズだと思えます。

そのほかにも、ボールペンの(株)パイロットは「書く。を支える」、ユニクロ等を展開する(株)ファーストリテイリングは「服を変え、常識を変え、世界を変えていく」、自衛隊は「平和を、仕事にする」など、色々な企業などが、自分の会社内外に「自分たちはこのために事業を行っている。」というような、自社の思いを伝えるためにフレーズを発信しています。

企業には、こうした「社会のために、地域のために、あなたのために」等、「〇〇のために〇〇をやっている。」というようなフレーズが、非常に大切なのだと思えます。

また、これは祭り等の地域活性化イベントでも同じことが言えると思えます。

最近、地区のイベントなど、「誰のために何のためにやっているのだろう？」と思うことがあります。大体は、以前から行っているからそのまま引き継いでやっているということが多いと思いますが、そのときに「このためにやっている」と確固たるものがあり、分かりやすいフレーズがあれば、数年経ってもみんな同じ方向を向いてイベント等を行うことも出来るのではないかと思います。

自分の思いや考えを分かりやすい「言葉にしてみる」というのも、新たな気持ちにもなれたりもして良いのではないのでしょうか！